

目標設定シート (2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	神学研究科
大項目	0 理念・目的
中項目	
小項目	0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
要素	理念・目的の明確化 実績や資源からみた理念・目的の適切性 個性化への対応
小項目	0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されているか。
要素	構成員に対する周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

○2009年度からの目標

1. 4つの研究分野（聖書分野、歴史・文化分野、組織・思想分野、実践分野）とその内容について、研究科の内外に周知を図ると共に、神学研究科の理念・目的との関連について定期的な検証を行う。

2. 上記研究分野を基礎とした履修コース（キリスト教神学・伝道者コースおよびキリスト教思想・文化コース）それぞれの意義付けを、カリキュラム編成に生かす。（博士課程前期課程）

【神学研究科の理念・目的】

神学研究科は、関西学院創立時の「キリスト教の伝道に従事すべく選ばれた者を鍛錬する」という基本理念を具現化するため、キリスト教宣教のための高度な専門的知識を具えた職業人を育成することを使命としている。キリスト教界、とくに教会やキリスト教学校教育、社会福祉や社会活動の領域において指導的な役割を果たす人材を送り出し、また神学の領域では独創的な研究者を生み出すなどの実績を残してきたが、今後もこれを継承発展していく。

神学研究科では、神学を専攻領域とし、その中に、4つの研究分野（聖書分野、歴史・文化分野、組織・思想分野、実践分野）を設けている。学生各自が研究主題を選び、指導教授との学問的、人格的な触れ合いによって、それを深め、学位（修士、博士）を取得できるよう、研究と教育を行っている。また博士課程前期課程においては、キリスト教界の指導者となるに求められる実践的な能力を育成するカリキュラムをも導入している。

教育目標および人材育成の目標については以下のとおりである。

1) キリスト教神学、キリスト教思想・文化の高度な研究の推進
神学の基礎的な知識に裏打ちされて、専門的な知識と思索を深め、各自の専門領域において、優れた特色ある研究を行えるよう、指導する。

2) キリスト教の宣教に従事する専門的職業人（伝道者・牧師）の育成
ことに博士課程前期課程においては、礼拝の指導者、説教者、牧会者として宣教の現場で直ちに活躍しうる人材育成を目指す。さらに、教会などのフィールドで経験したことを理論的に反省し、それを再び実践へと活かすことのできる能力を育成する。

3) 総合的な知を身につけた、専門的社會人の育成
キリスト教の本質にふれつつ、幅広くキリスト教に関する知見を養い、多元化社会において深い見識をそなえ、具体的な社会や世界の問題を発見し、これとキリスト教的な立場から取り組み、解決できる人材を育成する。

○指標

1. 履修モデルの作成と公開（WEB等の広報媒体への掲載、履修指導への反映 [心得に掲載]）

2. コース名称の変更とカリキュラムの改訂